



真夏を彩る祭りの競演 暑さをも忘れ酔いしれる

真夏を彩る一大イベントである村内の夏祭り、こしにもぎやかに行われました。そこで今月号では、ちよつと遅くなりましたが、仕事の都合で見物できなかった人や故郷を離れている人たちにも、ほんの少しですが、祭り気分を味わってもらおうと、岩室温泉まつり、和納十五夜まつりにスポットをあてて紹介しましょう。

七月二十九日のみこし渡御を皮切りに始まり、岩室神社通りには草花市、露店、そして花火大会と続きお祭り気分もいつきに急上昇。翌三十日は、岩室小学校の金管パレード、子供みこしも登場、そして、この祭りのハイライトともいえる芸妓屋台踊り、芸妓若者みこしが繰り出す際には、浴道も黒山の人だかりとなり街中が祭り気分一色。ワッショイ、ワッショイの掛け声も勇ましく練り歩くみ



岩室温泉まつりのメインともいえる「芸妓若者みこし」芸妓連のハッピー姿はこの日でなければ見られない。



艶やかだった芸妓連の「屋台踊り」

こし連に訪れた観光客も大喜び。そのうえ、この温泉まつりでは、豪華景品の当たる、うちわ抽せん会があつたりと楽しさも満杯。そしてファイナリは、丸小山運動広場での仕掛花火大会で幕を閉じました。ほんとうに、こしにもこの岩室ならではの華やかさと勇壮さを持つ温泉まつりに、詰めかけた観衆は暑さも忘れ酔いしれていました。また一方、こちら和納地区でも七月二十七日、二十八日の両日、古い伝統を持つ、和納十五夜まつりが盛大に行われました。

火・草花火”などは、村の無形文化財にも指定されているもので、こしにも二十七日に八幡神社を出発、子供たちが演じる棒遣いを先導に古式ゆかしいみこし行列が練り歩きました。そして、夜は村内唯一の大民謡流し、軽やかな岩室甚句の調べにのって、浴衣姿の岩室美人の民謡踊りのパレードで、いやがおうにも夏祭り気分が盛り上がります。



翌二十八日も、棒遣いやみこし行列が繰り出し、又、和納小学校の金管バンドパレードや子供みこしが元気いっぱい、和納通りを練り歩きました。そして、いよいよ夜は和納十五夜まつりのメインともいえる仕掛花火・草花火大会。独特の祭り囃子をバックに華やかに打ち上げられると、一般の花火とは一味違った伝統の重みと迫力感に、大勢の見物客は歓声を上げ沸きかえ

村無形文化財にも指定されている祭囃子が祭気分を盛りあげる(写真左上)。豪快かつ華やかに練り広げられる仕掛花火に草花火は必見の価値あり。(写真下左・草花火、右・仕掛花火)



棒遣いを先導に、古式ゆかしいみこし行列が練り歩く和納十五夜まつり

